



【発行】

偕行会リハビリテーション病院

医療相談課

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 FAX 0567-52-3885



新年度を迎えて

新年度を迎え、新しい職員もオリエンテーションから徐々に配属先での研修に移行し、緊張の中にも笑顔がみられるようになってきました。

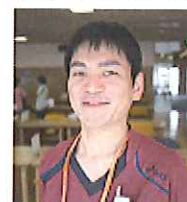
さて、回復期リハビリテーション病棟においては、今年度の診療報酬改定で、前回の改定で導入されたアウトカム評価である実績指数の条件がリハビリの算定単位数の上限だけでなく、入院基本料の施設基準にも反映されるようになりました。ただ単に運動機能が改善することだけでなく「どのくらいの期間でよくすることができたのか」ということが診療報酬上の評価で、より重きをなすことになったといえます。これまではリハビリを多く提供できる体制をつくることが求められていましたが、量はもとより、質の部分の評価の重要性が高まっています。当院のこれまでの診療データから振り返りますと、実績指数の条件は満たせておりますが、これからも日々質の向上を心掛けていかなければ、と思いを新たにした年度の始まりとなりました。

今年度は昨年度に引続き、病院のスローガンを「Support Your Life」として、「その方の生命、健康はもとより、暮らし、生活を支える」リハビリテーション医療、透析医療、生活支援を行うことに、より一層注力したいと考えております。治療面に置いても新しい治療機器の導入やCI療法、運転能力評価の充実に取り組むほか、看護部門でも、患者様が住みなれた地域に戻ることが出来ることを目標に、行動計画を立てています。

当院では回復期病棟での入院でのリハビリテーションの提供、透析外来を中心に医療の提供体制を整えてまいりましたが、3年前から介護保険での訪問リハビリテーションを開始し、昨年度は1ヶ月で250件～300件ほどの訪問リハビリテーションを提供するようになりました。今年度も訪問リハビリテーションのご依頼があればできるだけお応えしていける体制としています。

入院でのリハビリテーションや透析外来をはじめとして、脳血管疾患、骨折等を発症された透析患者様のリハビリ入院の受入れや、在宅生活における身体機能の低下や、装具等の不具合、痙縮に対してのご相談にも対応すること、在宅で生活されている方や、回復期リハビリの対象とならない方にも、訪問リハビリやリコンディショニング目的での入院リハビリテーションを通じて、必要な方に必要なリハビリテーションを行い、充実したリハビリテーション医療を行うことで地域貢献が出来ればと存じます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



事務部長 澤田 昭宏

トピックス

職員全体集会 開催

平成 30 年 4 月 17 日（火）職員全体集会が開催されました。職員 170 名が参加し、今年度の病院ビジョン・事業計画・各部署目標を共有しました。
 今年度の病院目標は「Support Your Life」をスローガンにスタッフ一同で取り組んでいきます。



また平成 29 年度 資格取得者の紹介もありました。

リハビリ部、看護部、
 診療技術部、事務部の
 各部門目標発表

田丸司 院長から
 病院目標について
 お話がありました



スタッフみんなで
 頑張りましょう！！



山川副院長

今年度から
 副院長に就任
 されました



石崎副院長

新しい職員が増えました!

今年度も新入職スタッフ20名をむかえることができました。看護師、看護助手、リハビリ、臨床心理士の新しいスタッフは、法人全体の入社式後から当院での研修期間がはじまりました。院長をはじめ、各部門の講義形式での業務や役割を学び、回復期リハビリテーション病院についての理解を深めました。すでに、研修期間を終え、チームスタッフとして頑張っていますのでよろしくお願いします。



部門内研修

他職種研修

法人内施設見学



回復期リハビリテーションではチームで患者様を支援していきます。他の職種がどのような役割を果たしているのかを知ること大切！他職種の役割の理解を深めるため、一日体験をしています。看護・リハビリ・栄養士・相談員・事務とそれぞれの職種から学ぶ機会も大切です。

他職種がどのような業務をしているのか、わかっているつもりでいたが、知らないことも多くありました。業務につく前に知ることができ、これから情報共有をしていくことなど大切だと感じました。これから患者さんのニーズをかなえられるように頑張りたいです。

看護師 8名 看護助手 2名
言語聴覚士 2名 理学療法士 2名
作業療法士 5名 臨床心理士 1名

自分の職種としての意見や考えを他職種に伝えていかなければならないと感じました。これからがんばっていきます!!



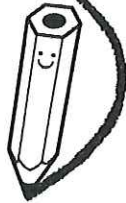
高次脳機能障害について

3月27日、兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 道免和久教授により「高次脳機能障害の理解とそのリハビリテーション」について講演会が開催されました。当院スタッフだけではなく、退院後の支援をされている地域のケアマネジャーの方々、患者様やご家族の方にもご参加いただきました。



「高次脳機能障害」についてとても分かりやすい講演会でしたとお声を多数いただきました。

ケアマネジャー45名 患者様・御家族様 24名と多くの方にご参加いただきありがとうございました。



Kaikoukai Klinik Senayanへ訪問

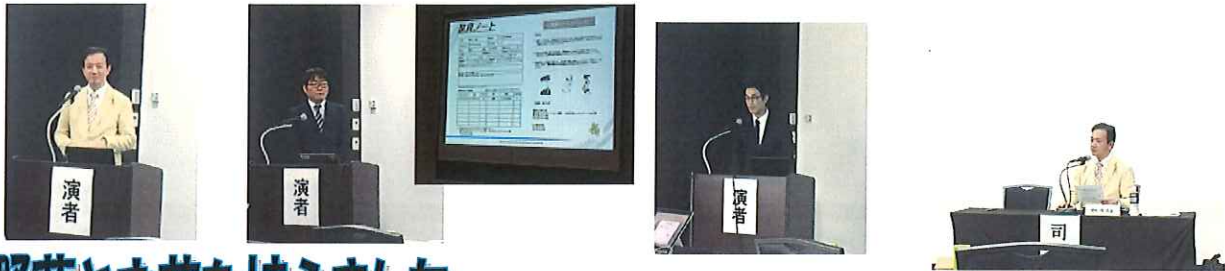
4月27日～29日に田丸院長と佐藤理学療法士がインドネシア ジャカルタにある「カイコウカイ クリニック スナヤン」を訪問しました。現地では、脳卒中後遺症や神経疾患の治療について意見交換をおこないました。また、インドネシアの理学療法士採用にあたり技術指導を行いました。



CORABOSS名古屋VI

6月2日「装具治療と痙縮治療について」というテーマで開催されました。当院から田丸司院長、戸嶋和也作業療法士、堀田清行理学療法士が発表をおこないました。

義肢装具を作成され入院中リハビリされていた患者様について、在宅生活を送られているなかでどのように連携をしていく事がよいのかなど議論されました。



～夏野菜とお花を植えました～

天気も良く心地よい風が吹き、かえるの泣き声が聞こえる中で、「園芸療法」をおこないました。夏野菜のピーマン・ししとう、にらやバジルなども植えました。



透析センターより

「透析時間」について

週3回の4時間透析の標準血液透析は、週あたり12時間しか治療されておらず、腎機能の代行は不完全な状態です。

長時間透析は、標準透析よりも1回の透析時間（5～6時間）を長く行う透析方法です。標準的な透析よりも穏やかにより多くの尿毒素や余分な水分の除去ができることがメリットとなり、合併症の減少や貧血、栄養状態の改善が期待できると言われています。



長時間透析って最近聞くけど？



透析時間を増やすメリットについて

- 通常の血液透析では管理困難な場合の方
 - (1) 心不全の悪化を防いだり、透析中の血行動態が安定します
 - (2) 血圧のコントロールが良好になります。
 - (3) 高リン血症が続いていた方がリンのコントロールが良好になることがあります。
- 通常の血液透析により安定している方で、時間をかけて除水することで、無理なくより良い状態に維持できるようになります。

連続シリーズ

ナースリハについて

~one care, one reha, one gift~

患者さんは、リハビリ室での訓練を終了し病棟に戻って入院生活を継続していきますが、訓練で獲得した ADL が生活上には反映されにくく、『できる ADL』に留まっていることが多くあります。患者さんの退院後生活に反映させるためには、獲得した『できる ADL』を『している ADL』に変換させる必要があります。セラピストが行なうリハビリにより基礎を身につけ、私達看護師が行う生活リハビリにより、応用力を身につけていきます。看護師が行なうリハビリは生活リハビリとなり、訓練以外の 21 時間が実質ナースリハビリの時間となります。生活行動の中には、食事、排泄、整容、清拭、更衣等ありますが、障害があっても、それらの動作を可能な限り自ら行うことが、ナースリハビリとなります。21 時間の病棟生活の中で繰り返し継続したリハビリを行うことで、機能が回復し、患者さんの自立支援や生活の再構築に繋がり、最終的には社会復帰を目指すこととなります。

ナースリハの内容

EXAMPLE

- ★背面開放座位により、意識レベルの改善を目指す
- ★スケジュールや時間の管理等ができるよう、生活の中に工夫を
- ★『話す・聞く・読む・書く』日常で継続できる工夫を
- ★摂食嚥下訓練により、経口摂取を目指す
- ★トイレで気持ちよく排泄できるよう、排尿・排便管理やトイレ動作の獲得をする
- ★歩行訓練、立位訓練、関節可動域訓練



etc...

この他にも看護師が日常生活の中で、患者さんに必要な動作を獲得できるよう内容を考え実践しています。

* ナースリハの詳細は、次回お知らせします *

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
2 階病棟クリニカルチーフ

今井 志保



栄養士がおすすめする今日のレシピ！

最近良く耳にする“インスタ映え”食事の美味しさも8割は視覚で占めると言われています。今回は視覚から美味しく見せるポイントをお伝えします。

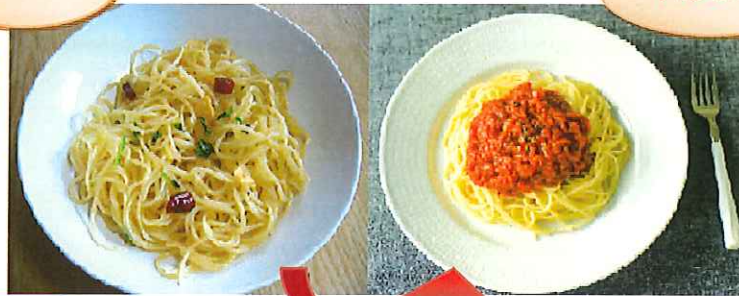


彩り

基本は“赤・黄・緑”の3色。特に緑は自然の緑が食と結びついており、ごちそうの色と言われ料理に欠かせない色でもあります。タプリー使いましょう！ワンプレートにすると更に彩りもよくお勧めです。

高さ

高低差をつけることでより美しく見えます。ベタリと平面に盛り付けず立体感を出しましょう！



バランス

器に30%以上のスペースを残してあげることでこなれた盛り付けに見えます！

包み焼きチーズin豆腐ハンバーグ



作り方

- 1.泡だて器でペースト状にした豆腐にパン粉を加えふやかす
- 2.肉・卵・塩・胡椒・ナツメグ・コンソメを加え粘りが出るまで混ぜる
- 3.みじん切りにした玉ねぎを加え更に混ぜ、付け合せの野菜を茹でる
- 4.6等分にしたタネにチーズを包み、中央をへこませ小判型して、強火のフライパンで焦げ目が付くまで焼く(中まで焼けていなくてもOK)
- 5.ハンバーグと茹でた野菜に★の調味料を合わせたソースをかけアルミホイルで包み230℃で予熱したオーブンで23分焼く

いつもとは違った盛り付けで“インスタ映え”の料理を作ってみてはいかがでしょうか？

◎材料(6個分)

- 合挽き肉…300g 絹ごし豆腐…300g(1丁)
- パン粉…1カップ 玉ねぎ(タネ用)…中1/2玉 卵…1個
- コンソメ…1/2個 チーズ…30g 塩・胡椒・ナツメグ…適量
- 人参…1/3本 しめじ…1パック 玉ねぎ…1/2玉
- ★ケチャップ…大さじ3 ★中濃ソース…大さじ1.5
- ★赤ワイン…大さじ1.5 ★砂糖…小さじ1/2 ★バター…5g



管理栄養士 後藤智恵

食事療法を行なっている場合
医師や管理栄養士などに相談しましょう

在宅支援リハビリテーション課の活動報告

3月17日、弥富市総合社会教育センター 公民館ホールにて「健康寿命を延ばそう～リハビリテーションのイロハ～」をテーマに弥富市内のリハビリテーションスタッフと一緒にリハビリの考え方や効果的な運動についての講演会がありました。

当院からは加藤作業療法士 足立理学療法士が在宅生活で簡単にできる「脳卒中の予防」「転倒予防」で健康寿命を伸ばすポイントについてお話ししました。



塩分の取りすぎに
注意しましょう

65 歳以上では 1 日に、
男性で 8000 歩 女性で
7000 歩を目標に歩きま
しょう！



地域の
リハビリ職の方々
と記念撮影



要介護状態を防ぐには2つの視点

- ①骨折しない骨づくり
- ②バランス力

健康寿命 up

バランス力

片足立ち運動



【私たちの基本理念】

- 1、患者のための医療を目指します。
- 2、他の医療機関と連携して、地域医療の発展を目指します。
- 3、教育・研究を重視し、職員の自己研鑽に努めます。

医療法人借行会

借行会リハビリテーション病院

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883(代表)

FAX 0567-52-3885

URL <http://www.riha-kaikou.com/>

FB <http://www.facebook.com/riha.kaikou>

